

新 企業の
コンプライアンス・
マネジメントの
すすめ方





はじめに

かつて中国を統一した秦王朝は、それまでの政治の理想とされた儒家による「徳治主義」を排除し、厳格なルールで人民をチェック&コントロールする法家の「法治主義」を採用しました。行き過ぎた統制は人民の反発を招き滅亡を早めた結果となりましたが、「遵法」を国家の基盤としたことは、後の中国歴代王朝に大きな影響を与えました。

一方、欧米には「ノブレス・オブリージュ（高貴さは義務を伴う）」という言葉があり、貴族階級はさまざまな特権を受ける代わりに戦争で前線に立つ義務を有する、という考え方がありました。現代では富裕層が社会的活動に私財を投じる基本精神の拠り所とされ、富裕層でありながら社会貢献活動を行わない人物は周囲からの尊敬を集めることができません。

これらを企業活動に置き換えてみると、最低限のルールを守るという「コンプライアンス」、持続可能な社会の実現に積極的に取り組むという「E S G経営」の両輪にたとえられるのではないのでしょうか。また、コンプライアンスは「性悪説」、E S G経営は「性善説」という側面もあり、このような二律背反を止揚するところに、より高次の企業活動の理想像があるのかもしれません。

第Ⅰ部は、SDGsへの取り組みやE S G経営、そしてコンプライアンスについて、第Ⅱ部は企業活動にかかわる具体的な法令について解説しています。法令に関する文章はわかりにくく面白みに欠けるところがありますが、できるだけ事例を交えてイメージが湧きやすい構成としました。そして筆者の予測も交えながら、正のスパイラルの中で考えられる新しい社会の方向性を提示しています。本稿が、読者の皆様のこれからの企業活動を考える羅針盤となりうるのであれば、筆者としてこれ以上の喜びはありません。



第Ⅰ部 企業人，社会人としてのコンプライアンス意識の確立

1-1 ESG経営とコンプライアンス・マインドの醸成

1 ▶ サステナブルSDGs とは何か ……	6	5 ▶ エシカル消費，消費者購買 心理の変化 ……	14
2 ▶ 企業を取り巻く環境との共生 ……	8	6 ▶ 働き方改革，従業員との関係 ……	16
3 ▶ CSR，企業市民としての 活動 ……	10	7 ▶ ESG投資，ESG経営と は何か ……	18
4 ▶ コーポレートガバナンスの 問題 ……	12	8 ▶ 企業活動に求められるコン プライアンス ……	20

1-2 コンプライアンス体制の推進

1 ▶ コンプライアンス・マイン ド，経営者の役割 ……	22	5 ▶ コンプライアンスを推進す る組織づくり ……	30
2 ▶ 社内環境整備とコンプライ アンスの展開 ……	24	6 ▶ コンプライアンス体制の運 用とルーティン ……	32
3 ▶ コンプライアンス・マネジ メントの枠組み ……	26	7 ▶ リスク・マネジメントから 見たコンプライアンス ……	34
4 ▶ コンプライアンス・マニュ アルの作成 ……	28	8 ▶ 新しい時代のコンプライア ンス ……	36
		事例問題① ……	38

第Ⅱ部 知らないではすまされない—リーガルマインドの醸成

2-1 企業活動における基本的な法令

1 ▶ 契約とは何か，契約の基本 ……	46	5 ▶ 損害賠償責任 ……	54
2 ▶ グローバルな契約 ……	48	6 ▶ 製造物責任法（PL法） ……	56
3 ▶ 民法改正のポイント ……	50	7 ▶ 守秘義務・インサイダー取引 ……	58
4 ▶ 債務不履行と不法行為 ……	52	8 ▶ ホワイต์な企業であるために ……	60

2-2 1人ひとりが気をつけるコンプライアンス

1 ▶ 不正競争防止法 ……	62	5 ▶ 個人情報保護 ……	70
2 ▶ 独占禁止法（独禁法） ……	64	6 ▶ 産業財産権 ……	72
3 ▶ 消費者保護法制 ……	66	7 ▶ 著作権 ……	74
4 ▶ 景品表示法（景表法） ……	68	8 ▶ 下請代金支払遅延等防止法 （下請法） ……	76
		事例問題② ……	78

第Ⅰ部

企業人，社会人としての コンプライアンス意識の確立

1-1 ESG経営とコンプライアンス・マインドの醸成

1-2 コンプライアンス体制の推進



ESG 経営と コンプライアンス・マインドの醸成

1

サステナブル ——SDGs とは何か

17の目標と169のターゲットを設定

2019年9月の国連サミットで、スウェーデンの女子学生で環境活動家でもあるグレタ・トゥンベリさんの行ったスピーチが話題になりました。グレタさんは「大人たちは若者の未来を奪うな、絶滅に差ししかっているのに経済成長のおとぎ話だけ、選択を誤れば許さない」と、時には目に涙を浮かべて強い口調で訴えました。

彼女の行動は、若者だけでなく世界中の多くの大人たちまでも感化し、ひとつのムーブメントを起こしました。人類1人ひとりが、そして社会活動をする企業のそれぞれが自分事として、今できることから環境問題に取り組まなければならない、という認識を新たにしましたのです。

SDGs
持続可能な
開発目標

SDGs（エス・ディー・ジーズ：Sustainable Development Goals）

は、2015年にニューヨーク開催の国連サミットで採択された「持続可能

図表 I・1 SDGs の17の目標



出所：国連広報ページ（日本）より

な開発目標」のことです。現在、世界中で起こっている貧困、環境破壊、人種・ジェンダー差別などを放置すると、人類の発展に大きな負の影響を与えられます。こうした地球的な問題や課題を解説するために「誰1人取り残さない」という理念のもと、17の目標と169のターゲ

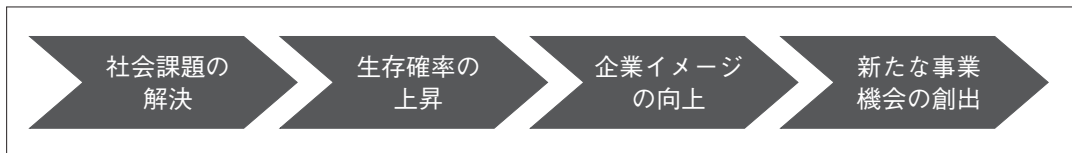
ット（より具体的な目標）が設定されました。

企業がSDGsに取り組むメリットとは？

資本主義社会では、企業による行き過ぎた利益追求のために、過重労働による人間疎外や公害による環境破壊が生じ、社会問題となってきた歴史があります。そのため、企業は世間の目を気にして環境問題や人権問題に取り組んできたという側面があったことは否定できません。しかし、SDGsはそうのように後ろ向きの姿勢で取り組むものではなく、また社会からの好感度が上がり自社商品やサービスが売れる、という一面的なメリットのために行うものでもありません。

人間がよりよい人生を送るために、心地よい自然の中で、澄んだ空気を吸い、体にいいものを食べ、隣人と温かい関係を築き、先人から学び、文化的な生活を送る——それと同じことを企業もめざすのです。そうした生き方ができるように企業がSDGsに取り組むことで、次のような4つのメリットを生み出します。

図表 I・2 SDGsに取り組むメリット



SDGs がもたらすシナジー効果

2017年に開催されたダボス会議で、B S D C（ビジネス&持続可能開発委員会）は「企業がSDGsを2030年までに達成することで年間12兆ドルの経済効果と3億8000万件以上の雇用が創出される可能性がある」と発表しました。B S D Cは、食料と農業、都市、エネルギーと材料、健康と福祉の4つの分野における60の領域でビジネスチャンスがあるとしています。

その理由は、SDGsが**全世界的な全体最適志向**だからです。貧困の放置はそれだけで機会損失になる、差別により能力を発揮できない人がいるとそれだけイノベーションが起こりにくくなる——その事実に気づき視座を上げて世の中をとらえることが、シナジーにつながるのです。

全世界的な
全体最適志向